

アルミ製純度99%の遮熱シート

サーモバリア

Thermo Barrier

「外壁」施工マニュアル

【目的】外壁の熱射対策としてのサーモバリア施工マニュアルです。

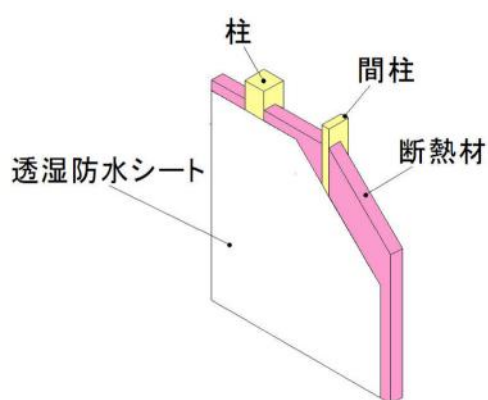
【使用部材】

サーモバリアスリム

①柱、間柱に透湿防水シートを貼ります。

構造用合板を施工してある場合は、その上に透湿防水シートを張ります。

* 通常施工と同じです。

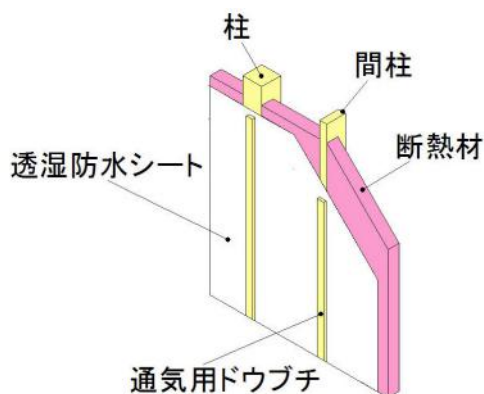


②通気用の縦ドウブチを打ちます。

通気用ドウブチの厚さは15ミリ以上とします。

構造用合板などの施工がしてある場合はドウブチの厚さは10ミリ程度でもOKです。

透湿防水シートから放出される湿気の通気を確保する目的で行います。

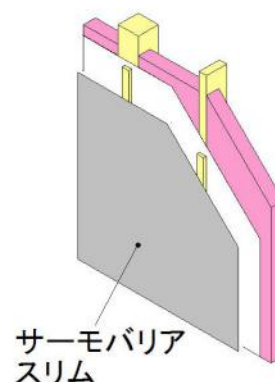


③サーモバリアスリムを貼ります。

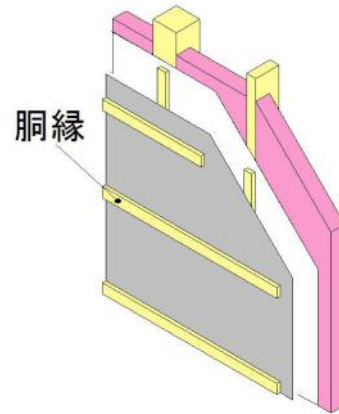
ステーブル(また釘)でサーモバリアスリムを通気用ドウブチに留めつけます。

サーモバリアスリムのジョイントは、2~3センチ程度重ねます。

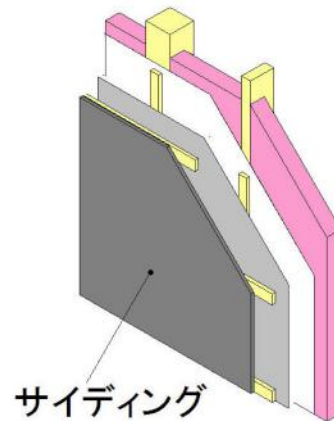
(重ね合わせることで、アルミテープでの張り合せは不要となります。)



- ④反射空気層用の胴縁を打ちます。
胴縁の厚さは15ミリ以上とします。
胴縁は縦向き、横向きでも OK です。
* 反射空気層の空気は通気する必要はありません。



- ⑤外壁材(サイディング)を施工し完成です。



施工上の注意

- ・ 遮熱材サーモバリアは反射空気層が熱源方向に必ず必要です。
- ・ 現場取付時、太陽光がアルミに反射して眩しさを感じますので、サングラスなどの防護対策を施すことをお勧めします。UV カットの日焼け止めを肌の露出部分に塗られることお勧めします。

株式会社ライフテック

* 本マニュアルの無断転用を禁じます。